

女性のがん検診ご案内

回覧

緊急事態宣言の発令及び新型コロナウイルス感染症の流行等により、中止となる場合があります。中止となった場合は、申込者にすみやかにご案内いたします。

検診日程 **10月20日(火)**

受付期間 **9月7日(月)～9月25日(金)**

受付時間 ①8:00～8:30 ②9:00～9:30 ③10:00～10:30 ④11:00～11:30
⑤13:00～13:30 ⑥14:00～14:30 ※各受付時間の定員 乳がん13名、子宮がん11名

会場 としべつ保健センター

申込方法 電話(82-2780) 又は 窓口でお申込みください (平日8:30～17:15)

健診機関 北海道結核予防会札幌複十字総合健診センター

※健診当日は、出入口での検温、手指衛生、咳エチケット等、感染対策を徹底し、実施する予定です。

ご協力お願いいたします。

【検診の種類と料金について】

年齢と保険種別 検診の種類	対象者	今金町国民健康保険加入者	社保等加入者	後期高齢者医療保険加入者
乳がん検診 (マンモグラフィ検査のみ)	20歳以上	1,500円	2,500円	1,500円
子宮がん検診 (経膈エコー含)	20歳以上	1,500円	2,000円	1,500円

乳がん・子宮がんは、20歳以上、毎年度1回受診できます。

今年度の女性のがん検診は今回(10/20)が最後です。

忘れずに検診を受けましょう！

【問い合わせ先】 保健福祉課健康づくりグループ 電話82-2780

➔ 裏面あります

◆乳がん

《はじめに》

乳がんは、乳房内の乳腺にできる悪性腫瘍です。40～60歳代に多いといわれていますが、最近では、20～30歳代の女性にも乳がんにかかる人が増えています。

早期に発見して治療を受ければ治すことができます。特に2センチ以下のしこりで、リンパ節への転移がない状態であれば、約90%の人がほぼ完治しています。がんが小さいうちに発見できれば、大切な乳房を切除せずに済みます。

乳がんの初期の病変は手で触っただけでははっきりせず、見逃してしまうことが多いので、マンモグラフィー検査（乳房専用のX線撮影）や超音波検査を受けましょう。しこりを形成するがんが最も多いのですが、がんの性質によっては、しこりを作らない場合があります。また、乳頭から分泌物があり、分泌物に血が混じっているようであれば要注意です。

（引用：北海道保健福祉部子ども未来推進局「女性の健康手帳」より）

《検査方法》

乳がん検診は、マンモグラフィー検査を行います。



◆子宮がん

《はじめに》

子宮がんは、女性なら誰でも起こりうる病気です。初期の自覚症状がないので、2年に1度は必ず健診を受けましょう。子宮がんには2つの種類があります。

①子宮頸がん

初期段階では殆ど自覚症状がありません。30歳以上にみられることが多かったのですが、最近では20歳代での発症が増えています。子宮頸がんの発症には、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が関係しています。HPVはごくありふれたウイルスで、性交渉によって感染します。女性の殆どが一度は感染する機会の多い感染症です。

②子宮体がん（※検診で不正出血など症状のある方が対象です）

初期段階では殆ど自覚症状はありません。出産経験の少ない女性がかかりやすく40歳以上に多いがんです。

（引用：北海道保健福祉部子ども未来推進局「女性の健康手帳」より）

《検査方法》

子宮頸がん検診は、問診、細胞診とエコー検査を行います。

★ピンクリボンは、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進することなどを目的として行われる世界規模の啓発キャンペーンシンボルです。

